

DX 通信

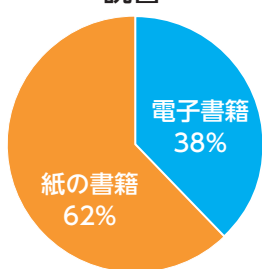
電子機器もアナログからデジタルへ

社会のデジタル化が進んで、ガラケーや固定電話、FAX、テレビなどの『アナログな機器』の利用は減ってきているようです。ご自宅にある固定電話やFAXは、10～20年後には貴重な機器になっているかもしれません。それに代わり、スマートフォンやタブレット端末、パソコンなどのデジタル機器の利用は増えています。特に、スマートフォンは、5年後にはほとんどの人が利用する便利ツール(道具)になっていると考えられます。また、今のペースで技術革新が進めば、2025年には80億に達すると推定される世界人口のほとんどが、オンラインでつながるといわれています。

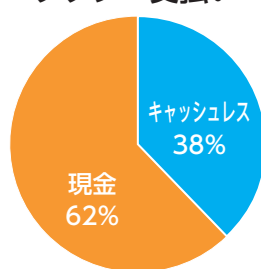
デバイス		全体保有率	前年比	最も保有している年代	最も保有している都道府県
アナログ	ガラケー /PHS	16.0%	-0.2pt	15-19 歳 (20.0%)	富山県 (20.6%)
	テレビ	93.3%	-1.3pt	70 代 (97.4%)	佐賀県 (97.7%)
	固定電話	59.4%	-3.1pt	70 代 (85.3%)	奈良県 (69.6%)
	FAX	34.1%	-2.5pt	70 代 (54.9%)	奈良県 (45.3%)
デジタル	パソコン	54.8%	3.0pt	15-19 歳 (61.7%)	東京都 (60.2%)
	タブレット端末	27.3%	2.5pt	15-19 歳 (32.0%)	山梨県 (29.8%)
	スマートフォン	88.6%	1.8pt	30 代 (99.4%)	群馬県 (96.4%)
	ウェアラブル端末	7.1%	2.1pt	30 代 (13.5%)	静岡県 (15.9%)

また、読書やタクシー支払い、行政手続も徐々にアナログからデジタルに移行しています。全国的に見ると電子書籍やキャッシュレス決済、行政手続のオンライン申請を多く利用する方は約4割となっています。

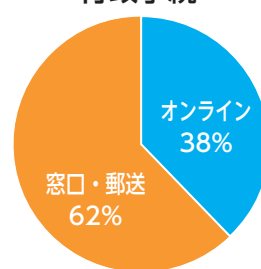
読書



タクシー支払い



行政手続



※参考：デジタルの日オンラインイベント：<https://digital-days.digital.go.jp/>

市報行方のバックナンバーは、市のホームページでご覧いただけます。読むことができるのは、合併時から最新号までです。読書の秋、市報行方を電子で読み返してみたいかがでしょうか？
バックナンバーはこちら→



新たにオンラインで申請できる手続きが増えました！「行方市交通・運送事業者等原油価格高騰緊急対策支援金支給申請」と「行方市農業資材等高騰緊急対策事業費交付金交付申請」が追加されました。オンライン申請は役所に行く手間も省け、窓口で待つ必要もなく便利です。ぜひご利用ください。申請はこちら→

